

総合型クラブ設立準備委員会

総合型地域文化・スポーツクラブ 設立にむけて

厚真町総合型地域文化・スポーツクラブ 設立準備委員会

目次

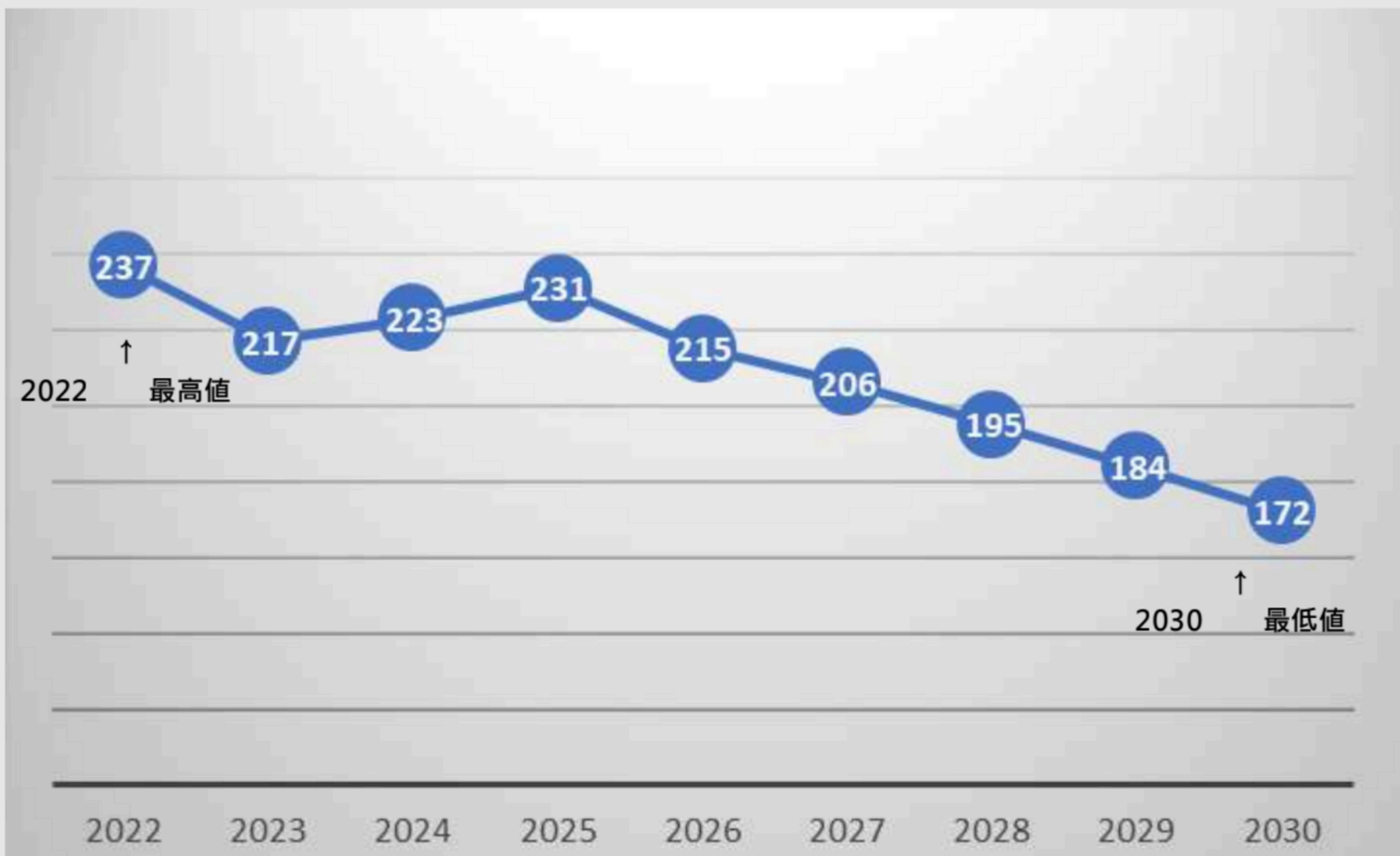
- 01 クラブ設立・目的
- 02 ミッション
- 03 現状確認
- 04 クラブが目指す姿
- 05 他団体との比較
- 06 2025、2026年事業計画
- 07 2027年以降の計画
- 08 課題

①厚真町で総合型地域クラブを設立します

[目的]

厚真町には令和7年6月現在10のスポーツ少年団加入団体、21の文化協会加入団体があり、他にも自主的に文化・スポーツ活動を行う個人・団体が少なくありません。一方で人口は減少し、次ページのグラフで示すように小学生の人数だけとっても2030年には約25パーセント減となる予測が立っています。未来の厚真町民が可能な限り文化・スポーツ活動に触れられるように、文部科学省が推進している「多世代・多種目・多志向」の活動が厚真町内で展開し、生涯にわたって文化・スポーツ活動が楽しめる環境をつくるために、総合型クラブを設立します。

厚真町内の小学生世代の人数予想



※厚真町住民台帳から推計

②こんなクラブにしていきたい

**多世代、多種目、多志向活動を
実現できるクラブ**

②総合型地域クラブのミッション

[総合型クラブとして達成すべき3つの事]

■さまざまな年代の人が参加できる機会をつくる。(多世代)

■さまざまな文化・スポーツ活動に触れることができる機会をつくる。(多種目)

■既存の団体と共存し、本人の意思に合わせた活動が選べる環境をつくる。(多志向)

②総合型地域クラブ のミッション

例：
スポーツ分野での
多種目・多志向

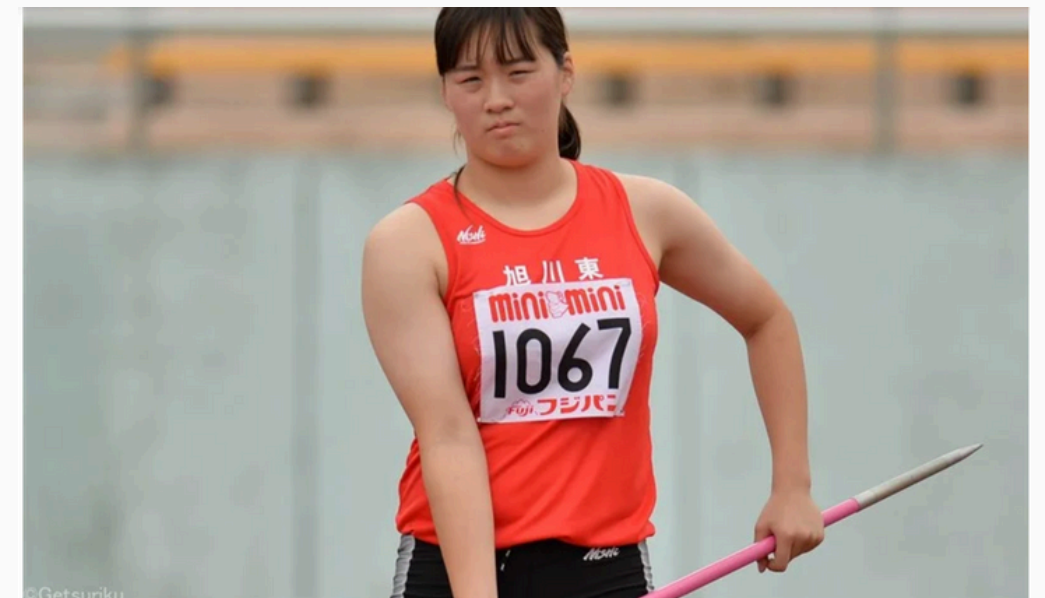
トップレベルから一般レベルまで多種目・多志向が 目標達成、ウェルビーイングの向上につながる

室伏長官はハンマー投げのほか、いくつものスポーツを経験した自身の子供時代の話から、若い時から多くの“スポーツを体験できる機会”を創出することや、“いろいろなスポーツを楽しむ”ため、年代に合わせて身体機能やアスレティックなアビリティを高めることの重要性について語りました。



ほかの登壇者からは、ニュージーランド、オーストラリア、アメリカ、スペイン、それぞれの国での事例が紹介されました。アメリカの学校ではスポーツはシーズン制で分かれ、州毎に規定が設けられており、さまざまな競技を行う仕組みが整っているという話、スペイン・バスク州では教育の一環としてスポーツ活動が取り入れられおり、12歳まで特定のスポーツでの選手登録は禁じられ、マルチスポーツが推奨されているなどの話が紹介されました。

登壇者が共通して語ったことは、マルチスポーツは運動能力の向上が目的ではなく、“スポーツや体を動かすことが好きになる”こと、「ウェルビーイング」の向上という観点でした。多様なニーズに合わせた誰もがスポーツを楽しめる環境の大切さが示されました。



高校時代から陸上競技を始めた北口。まもなく全国大会を果たすなど才能の片鱗を見せていた

[すべての写真を見る 4枚 >](#)

ブダペスト世界選手権の女子やり投で、[北口榛花](#)（JAL）が金メダルを獲得した。女子ではオリンピック・世界選手権を通じてマラソン以外で初の快挙。男女投てき種目としてはハンマー投の室伏広治（アテネ五輪、テグ世界選手権）に次いで2人目となる。

179cmと恵まれた体格は北口の特長の一つ。両親ともにバスケットボール経験者で、母は元実業団選手。そうした背景はあるものの、その身体をうまく使うための能力は幼い頃から、高校時代までスポーツ・競技歴が生かされていると北口自身も話したことがある。

北海道・旭川市に育ち、幼い頃からスイミングスクールに通い、特に自由形を得意としていた。小学生になってからは並行してバドミントンも始め、小6の時には団体で全国優勝。後に日本代表になる山口茜とも対戦したことがある。中学では特に競泳に力を入れて全国大会にも出場した。

他にも体操教室や、英会話、塾、ピアノと好奇心旺盛な幼少期を過ごしている。ちなみに、バスケットボールにも挑戦したことがあるが、「母から才能がないと言われました」と笑う。今でも女子バス

②総合型地域クラブ のミッション

例：
芸術分野での
多世代活動

厚真町文化祭ウィーク芸能発表会における
幼児から大人までが一緒になった発表



③厚真町の文化・スポーツ活動の現状

■小学生...スポ少活動・習い事、放課後子ども教室

■中学生...スポ少活動・習い事、部活動

■高校生...部活動、スポ少・習い事、公営塾

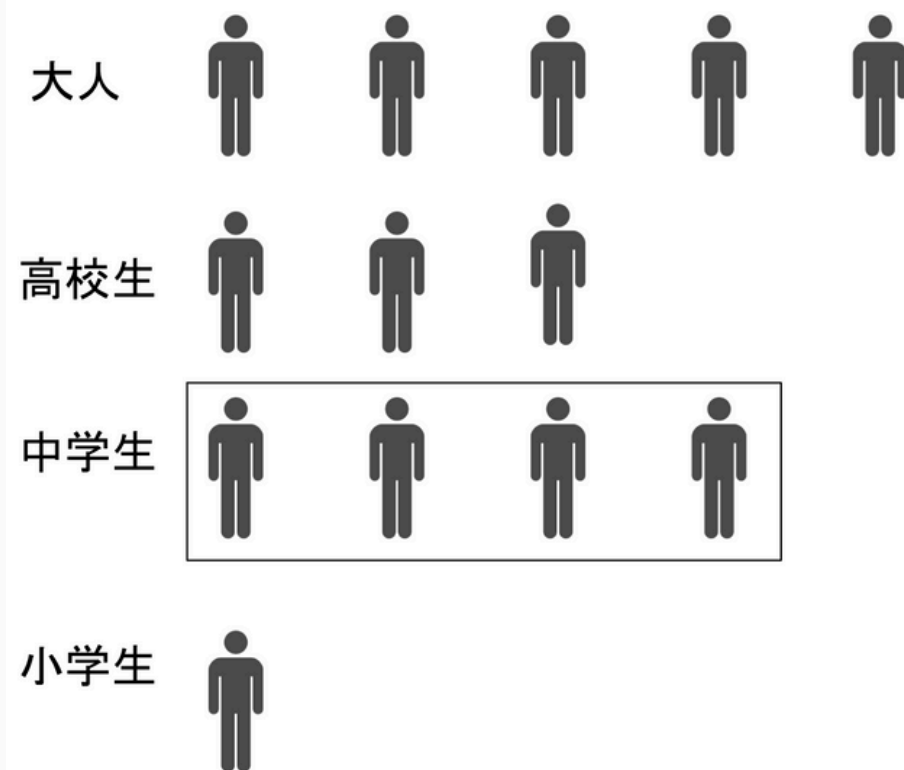
■大人...それぞれの趣味嗜好に合わせた活動

※部活動が地域展開に伴い廃止になった時、専門的に活動したい生徒以外は活動場所がなくなる

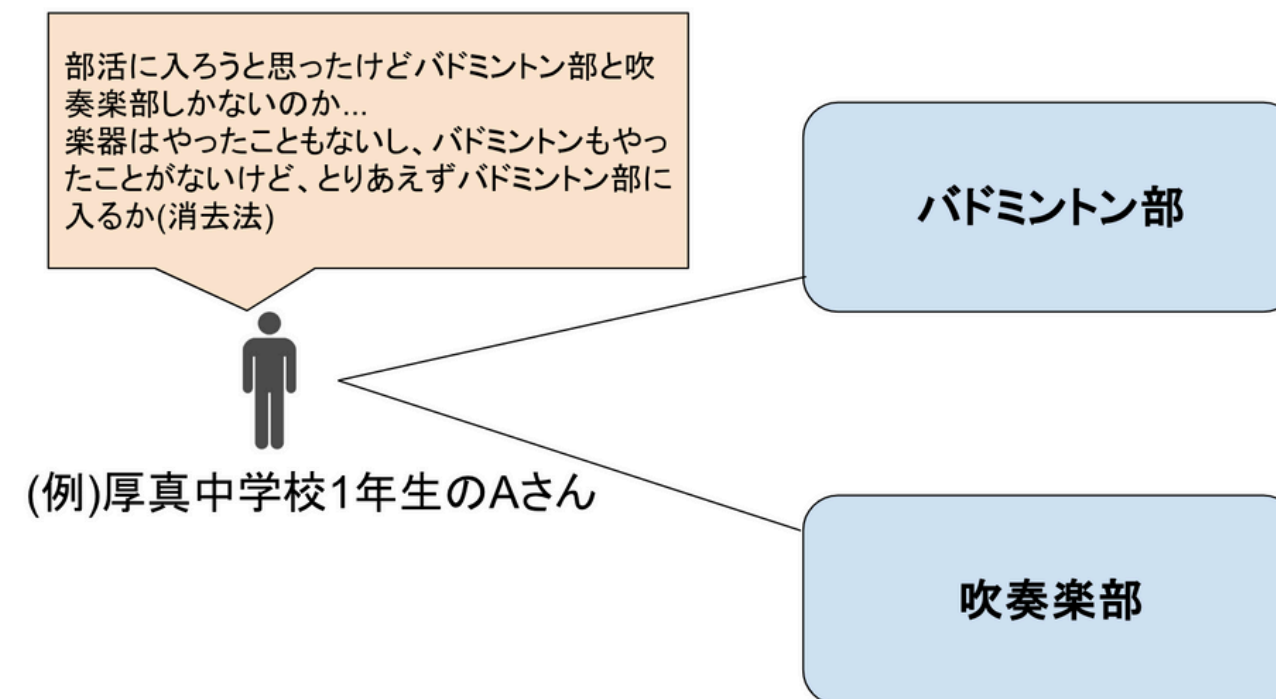
③厚真町の文化・スポーツ活動の現状

中学生年代は既に部活動の選択肢が極端に減ってしまっている
厚真中に2部活(バドミントン・吹奏楽)、厚南中に3部活(バドミントン・卓球・総合文化)

特に中学生は部活動の数も少なく、人数も減り、活動の機会が消失



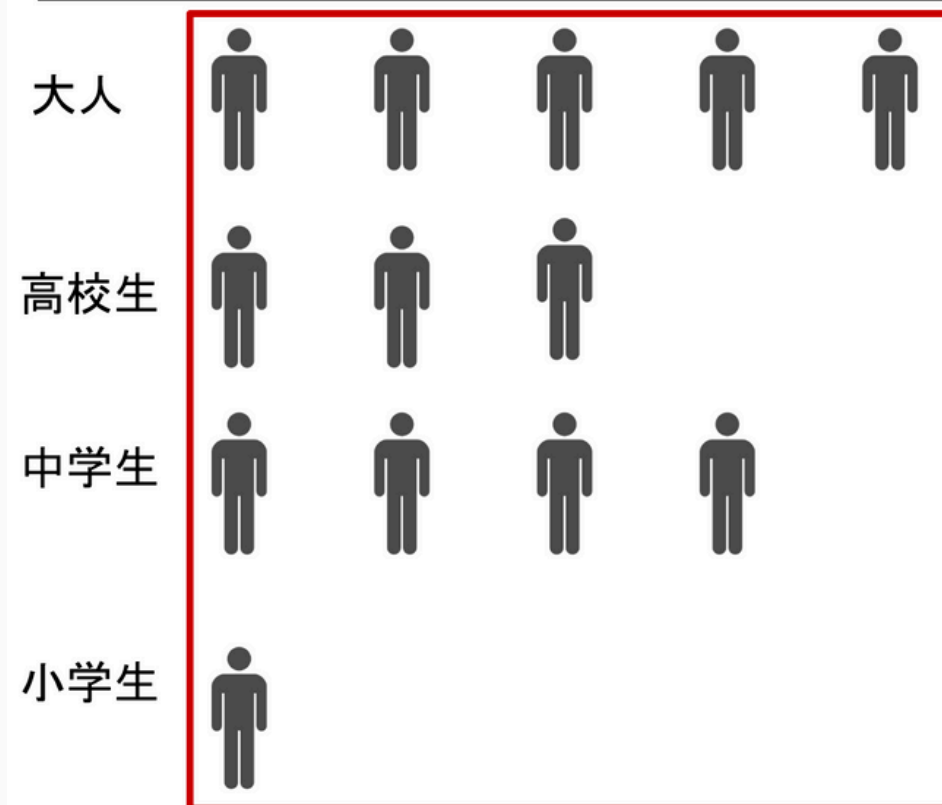
部活に限定すると中学生の活動の選択肢は昔と比べて極めて限られる



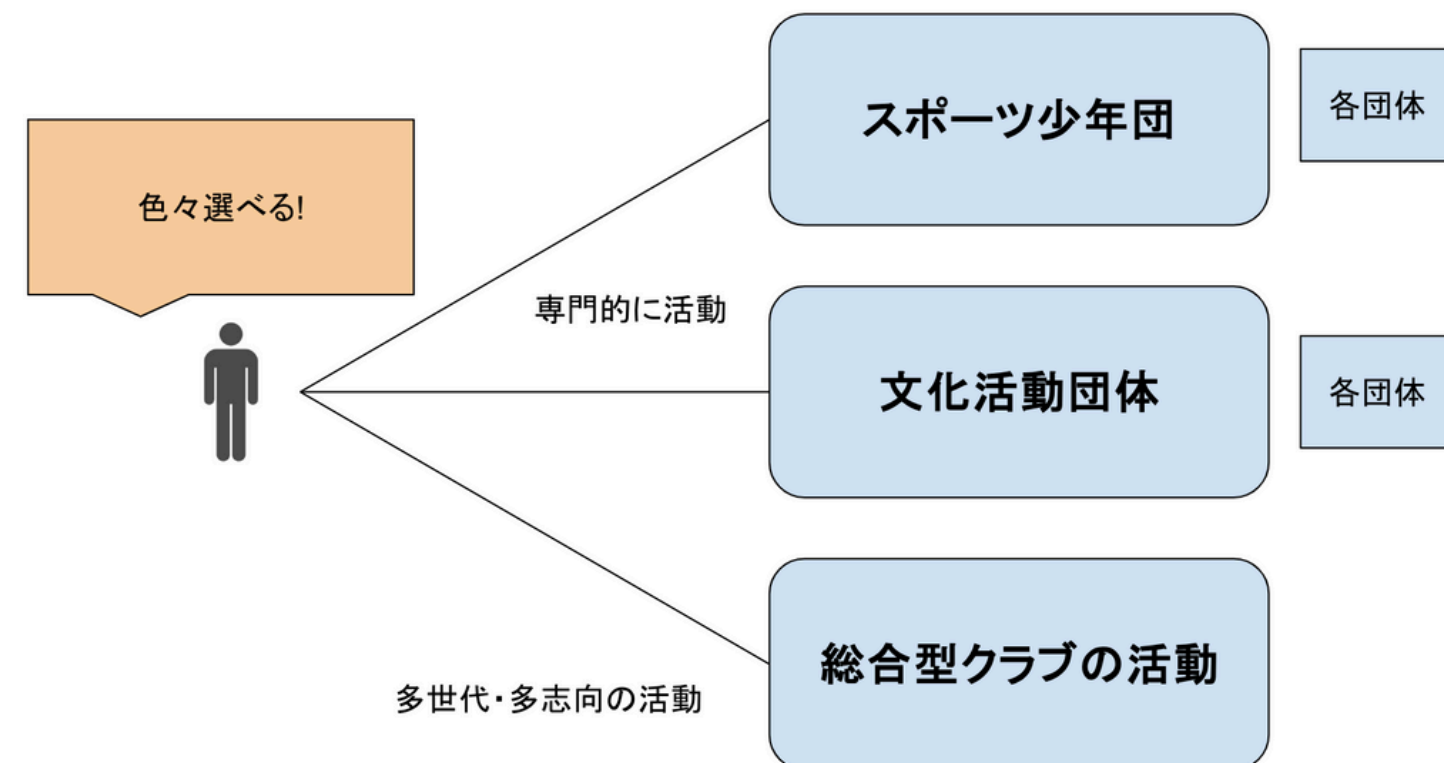
③厚真町の文化・スポーツ活動の現状

中学生の活動の幅も多世代・多種目に目を向けるとぐんと広がる

年齢を超えた縦の関係を築いて文化・スポーツ体験の機会を確保する



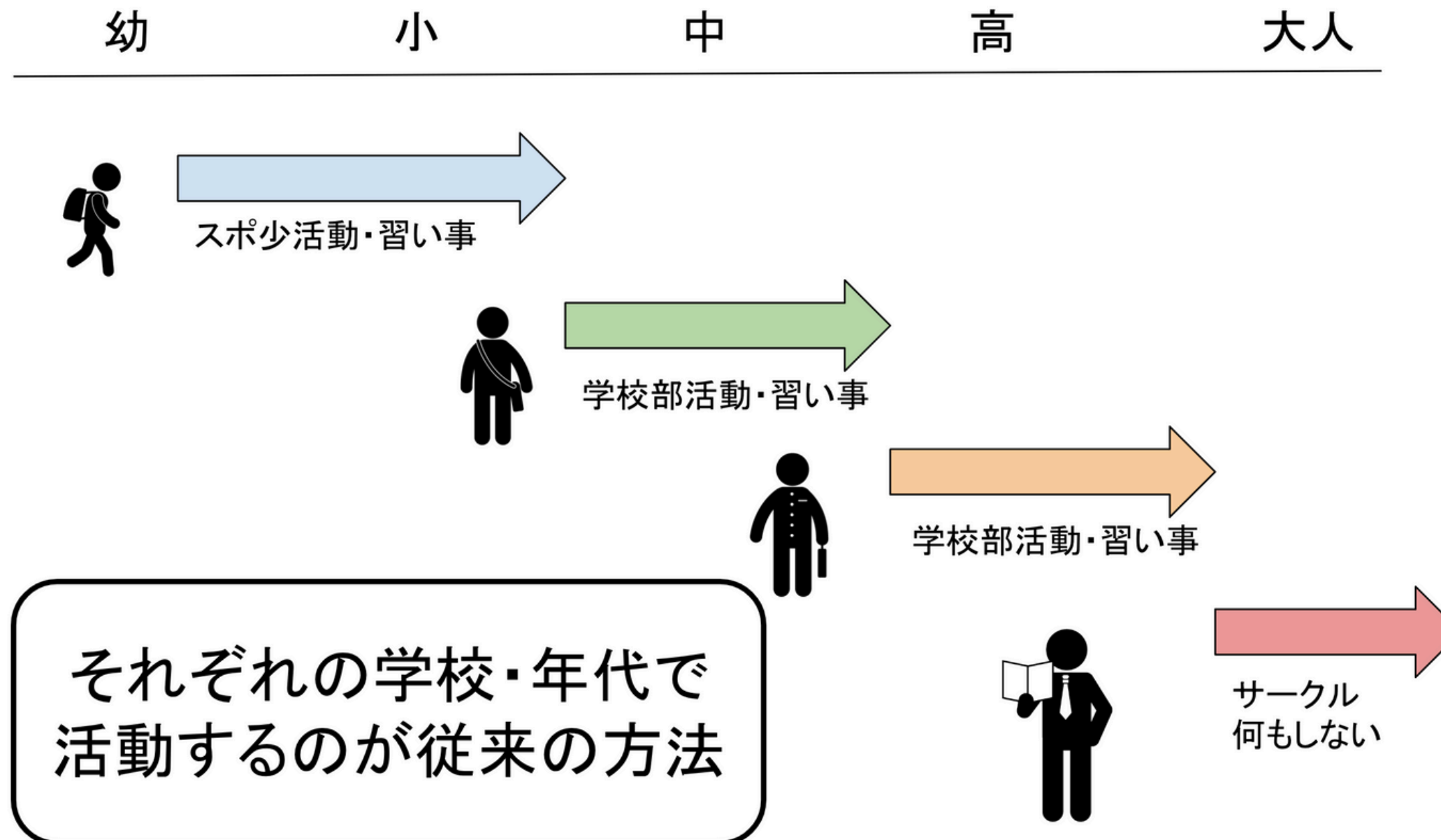
町内各団体、総合型クラブで活動の機会を確保する・選択肢が増える



従来は学校単位・年代単位の活動がメイン

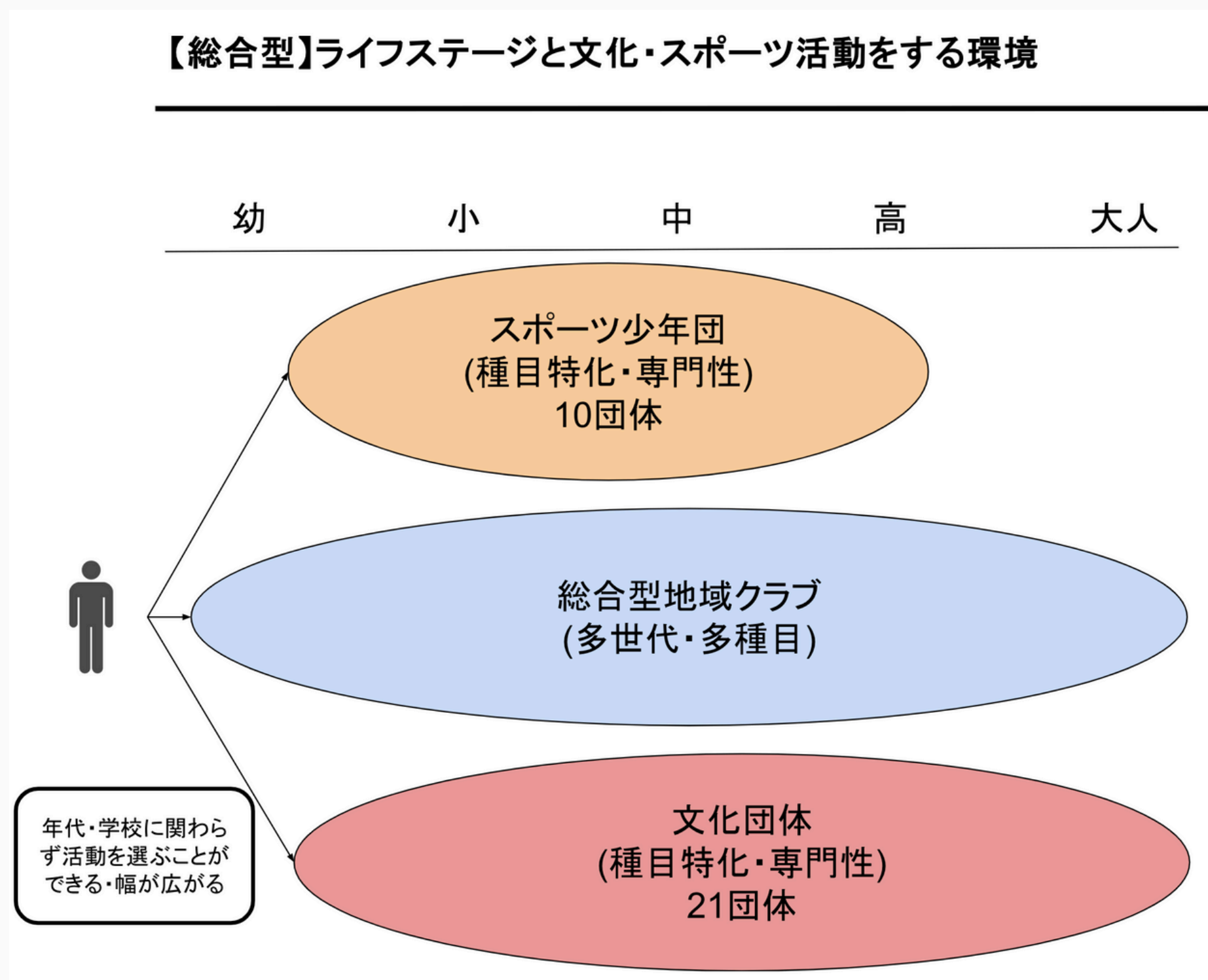
【従来型】ライフステージと文化・スポーツ活動をする環境

例:ある1人の一生における
文化・スポーツ活動のため
属する組織



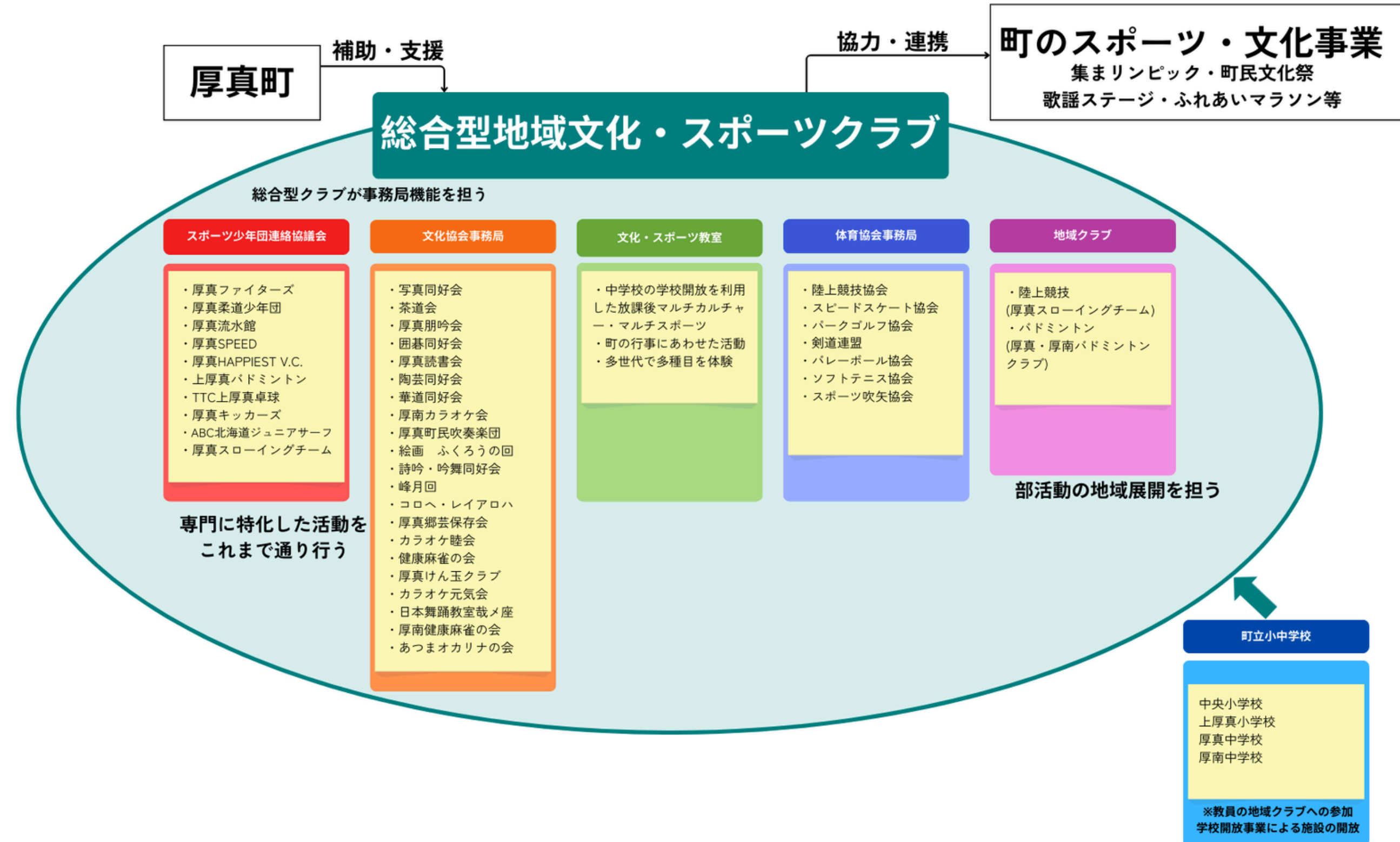
学校・年代にこだわらないことで活動の選択肢が広がる

文化・スポーツ活動を地域で行うことにより、活動の幅が広がる。卒業に伴い活動を辞めざるを得なくなるということもなくなる。



④ 総合型地域クラブ が目指す姿

- さまざまな体験ができる機会を作る
- さらに専門的に活動したいモチベーションを生み出す
- 多世代で活動できる機会を作る
- 中学校の放課後の体育館を利用した総合型クラブの文化・スポーツ教室の展開



中学校の放課後の時間を使った総合型クラブの教室

現在の中学校の放課後は、部活動または特段の事情がない限りはすぐに下校しなければならない。総合型クラブで学校開放事業を利用して放課後の時間に文化・スポーツ活動をする機会を確保する。

厚真中学校での想定：スクールバスの最終便が18時（冬季は17時30分）

→最終便までの時間は総合型クラブとして活動したり、陸上の少年団員が学校に残れたり、バドミントンの地域クラブ活動を行ったりできる。

厚南中学校の場合：スクールバスの最終便が17時35分

→最終便までの時間は総合型クラブとして活動したり、バドミントンや卓球の地域クラブ活動を行なったりできる。

⑤総合型クラブと既存スポ少・文化団体の比較

項目	総合型クラブ	各少年団・文化団体
対象、活動の焦点	多世代・多種目・多志向	各団体指定の年代、競技性・専門性
活動にあたっての重点項目	体験、普及、交流、活動における楽しさ	普及、強化、高い専門性 酸いも甘いも飲み込む
大会の参加や競技団体への加盟	各競技団体への登録なし 大会参加なし 町文化・体育行事への参加	各競技団体等へ登録 大会やコンクールに参加する

既存の団体に対して総合型クラブができること

項目	総合型クラブ	各少年団・文化団体
団員・会員確保に向けた各団体へのあっせん	プログラムを通してより専門的に行いたい人には各団体への参加を促す	総合型クラブの活動が会員確保の一助となる
登録手続き・保険手続き	スポーツ少年団・スポーツ安全保険加入手続きを代行	事務手続きの手間が減る
指導者調整	各団体の活動に不定期で伺い体力トレーニング等の指導・活動の様子を撮影etc.	基礎体力トレーニング等日々の練習でプラスしたい要素が補える、活動の様子を記録できる

体力トレーニングの指導・活動写真の撮影の例



⑥2025年度・2026年度の事業計画

■2025年度

- ・6月より月に1回スポーツ教室・文化教室を交互に実施する。

予定しているプログラム:

スポーツ...バスケット・卓球・ドローケイ・バドミントン・バレーボール・ラグビー

文化...けん玉、DJ、テントサウナ、中国語

■2026年度

スポーツ、文化ともに1~2ヶ月に1つのプログラムを実施する。時間は平日の夕方、臨時で活動する場合は土日に随時行う。厚真町文化祭、あつまりんピック等への町行事へ積極的に参加する。

活動計画

参加人数:

- ・ 各回20~30人程度

費用:

- ・ 実費徴収

広報:

- ・ 町の広報
- ・ インスタグラム
- ・ ホームページ

2025年度計画: 月に1回プレ事業として教室開催

	教室	内容	場所	講師
6月	スポーツ教室	ドロケイ	スポセン	A-Style
7月	文化教室	けん玉×DJ	青少年センター	あつまけん玉クラブ
8月	スポーツ教室	バスケットボール	スポセン	A-Style
9月	文化教室	屋外テントサウナ	浜厚真	A-Style
10月	スポーツ教室	マラソン	100年記念公園	A-Style
11月	文化教室	太鼓	上厚真	畑島
12月	スポーツ教室	ウエイトトレーニング	スポセン	A-Style
1月	文化教室	わかさぎ釣り	三日月沼	山中
2月	スポーツ教室	バドミントン	スポセン	ノーススタークリエイション
3月	文化教室	中国語	青少年センター	A-Style

2026年度計画: 文化、スポーツ活動をそれぞれ週1で開催

スポーツ、文化ともに1~2ヶ月に1つのプログラムを実施する

1年で6~12種類のスポーツ活動・文化活動を行う

時間は平日18:30~20:00、臨時で活動する場合は土日に随時行う

	月	火	水	木	金
スポーツ教室		○			
文化教室				○	

	2026年度年間予定の計画	
	スポーツ	文化
4月	ハイキング	中国語
5月	パークゴルフ	けん玉
6月	バスケ	映画
7月	バスケ	虫とり
8月	ダブルタッチ	フラダンス
9月	マラソン	バズる動画作成
10月	マラソン	写真
11月	ソフトボール	茶道
12月	ソフトボール	華道
1月	スケート	餅つき・書道
2月	スケート	わかさぎ・かまくら
3月	ドッジボール	陶芸・うどん作り

実施可能プログラムの一覧から種目を年度替わり前に決定する

虫取り	映画	バスケットボール
書道	DJ	パークゴルフ
写真	ギネス記録	サイクリング
華道	バズる動画	ランニング・マラソン
うどん作り	かるた	ソフトボール
餅つき	ラーメン作り	ダブルタッチ
陶芸	ドラム缶風呂	ドッジボール
屋外サウナ	英語	ハイキング
ピザがま	中国語	ウエイトトレーニング
キャンプ	双六	スケート
和太鼓	ボードゲーム	テニス
けん玉	わかさぎ釣り	ボディボード
フラダンス	雪合戦	キックベース
日本舞踊	かまくらづくり	クロスカントリースキー
茶道	ディベート	モルック
コーヒードリップ	飯寿司作り	バドミントン

⑦2027~2030年度の目標

■2027~2030年度

- ・平日の開催日数をスポーツ2、文化1に増やす。

例) 火曜・木曜 - スポーツ 金曜 - 文化

- ・子どもから大人まで会員数150人程度を受け入れ可能な体制を作る。
- ・スポーツセンター、スタードーム、上厚真野球場、スケートリンク、パークゴルフ場等の町管理施設をより有効活用できるようなプログラムを行う。
- ・厚真町文化祭、あつまりんピック等への町行事へは引き続き積極的に参加する。

⑧課題

- ・活動場所までの移動方法

放課後一度帰宅してしまうと車を持たない子どもの活動場所までの移動手段がない場合がある。スタッフ二名が今年度中型免許を新たに取得したが、車両の目処がたっていない。

- ・各団体との折衝及び指導者確保

総合型クラブの活動について、スポ少各団体には説明がまだ不十分であり、文化協会加入団体には説明の機会が持てていない。一方で、スタッフでカバーしきれない種目、内容を指導できる方も活動の充実のためには必要となり、各団体と協力して事業を進める必要もある。

- ・活動内容の精査

- ・活動を継続していくための財源の確保